

(別紙様式2)

# 学力向上計画 四日市市立下野小学校

## I めざす子ども像

「ともに生きることを思う子」「知ること、学ぶこと、考えることを楽しむ子」「健康を大切にする子」

## II 全国学力・学習状況調査等の分析に基づく子どもたちの学力や学習・生活の状況等

### <学力に関して>

- ・ 関心・意欲は高いが、基礎基本の習得は十分でない。
- ・ 「話す・聞く」「書く」領域と比較して「読む」ことが弱い。
- ・ 事柄や順序を考えながら書いたり、話題に沿って話し合う力が弱い。
- ・ 計算力はあるが、文章題での立式や説明する力が弱い。
- ・ 図形、数量に関する知識・理解がかなり弱い。
- ・ 国語・算数とも記述式の無回答率が高い。

### <学習・生活の状況に関して>

- ◎手伝いをする。◎地域の行事に参加している。
- ◎学校のきまりを守っている。
- ◎家庭学習の提出率はよい。
- 自分の思いをなかなか口にできない。 ●将来に夢や目標を持っている子がやや少ない。 ●算数・理科を苦手としている。 ●長い文を読むのを苦手としている。

## III 指導改善のための計画（ポイント）

### <学力に関して>

- 基礎的・基本的な知識や技能の習得
  - ・ 読み書き計算等の習熟に係る指導や支援の充実（授業の工夫・少人数（IT）指導の推進）
- 主体的な学びを育む授業の改善や工夫
  - ・ 「学び合い」学習を機軸とした授業の構築
  - ・ 確かな学力を身につけるための授業改善の推進
  - ・ 授業が活性化する課題設定の工夫

### <学習・生活の状況に関して>

- ・ 低学年からの家庭学習習慣の定着を図る。
- ・ 高学年では学年に応じた自主学習の取り組みを進める。
- ・ キャリア教育を基盤に据えた教育活動の推進を図る。

## IV 具体的な取組

### <確かな学力を身につけさせる授業改善>

- ・ 授業始め5分間で、漢字、計算力を高めるため、百マス・フラッシュカードなど繰り返し学習を根気強く行う。
- ・ 事柄や順序を考えながら書く力を育てるため、5W1Hを考えながら書くこと、つなぎ言葉の使い方を考えて書くことなどの指導を行う。
- ・ 算数では計算式を言葉で説明したり、書いたりして、より考えを深め合う学習を行う。
- ・ 自分の考えを周りの人に説明したり、発表したりすることを授業で位置づける。

### <組織的に取り組む学校体制の確立>

- ・ 学び合う授業を展開する（ペア・グループ活動／伝え合う力の育成／発表しあう機会）
- ・ ノート指導の系統性と充実を図る。
- ・ 朝の学習タイムの工夫と充実
- ・ 読書活動の充実
- ・ 地域に根ざし、地域に学び、地域の人との出会いを機軸にした総合的な学習の時間の充実を図る。
- ・ 児童自らが主体的に取り組み、表現する機会をすべての教育活動に位置づける。
- ・ 3年～5年 CRT 検査の実施
- ・ 学力向上委員会を通して、系統性と計画性を持って学力向上の取り組みを実施する。

### <指導力を高める研修の推進>

- ・ 研究授業を通して研修テーマに迫る。
- ・ 学力調査の問題を知り、授業で工夫して取り上げる。
- ・ 効果的な少人数授業を展開する。
- ・ 校内自主研修（OJT）を実施し、授業力を高める。

### <情報共有による学校・家庭・地域が一体となった取組>

- ・ 子どもの家庭学習については、全職員で共通理解をして取り組む。また、家庭学習のてびきを作成し、具体的に宿題の出し方等について学校全体で話し合い、学習習慣の確立を図る。
- ・ 学校の取り組みについて地域や家庭に情報発信し、連携と理解を図る。

## V 取組の検証と改善方策

- ・ 学力向上委員会で定期的に検証を行い、改善内容を検討・実施していく。
- ・ 児童（5・6年）に学習状況調査を実施していく。（4月）
- ・ 学校づくり協力者会議で、子ども・保護者・教師の自己評価に基づき、学校関係者評価を行う。